

会 議 録

1 会議名

令和4年度第8回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

「地域活性化の方向性」の検討について（公開）

3 開催日時

令和4年10月14日（金）午後6時30分から午後7時22分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、大島 進（副会長）、伊倉幹夫、笠原 武、
笠原幸博、羽深栄一、柳澤 篤、渡辺孝三郎、渡邊修一（欠席者3名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

- ・挨拶
 - ・会議録の確認：渡辺孝三郎委員、渡邊修一委員に依頼
- 議題【協議事項】「地域活性化の方向性」の検討について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・資料No.1 「八千浦区における『地域活性化の方向性』の作成について（案）」に基づき

説明

【仲田会長】

・説明に対し意見等を求めるがなし。

それでは、事務局から説明があった今後の進め方について、それぞれ時系列で出てい
るとおり進めていきたいと思う。

次に別紙でお手元に届いている八千浦区の魅力、次世代に残していきたいものなど
について、お1人ずつ発言をいただきたい。

【伊倉委員】

自然環境についての魅力である。海岸線の砂浜に幼い頃から親しんでいるので、これ
が一番かと思っている。

【笠原武委員】

私も海の関係である。海岸を利用した美化だけではなく、何か地域として利用できる
ことがないか考えている。

【笠原幸博委員】

私も同じである。自然環境の中で八千浦区と言えば、海岸である。他から見ても、や
はり八千浦は海だろうと思うので、海との関わりのある活動をしていかないといけない
のではないかと思う。

【渡邊修一委員】

八千浦区の特長、個性として、上越火力発電所がある。夜間はとても綺麗である。ラ
イトアップの見学等々、八千浦区にとって一つの宝ではないかと思っている。それを活
かして人が来てもらうようなことができれば、非常によいのではないかと思う。

【渡辺孝三郎委員】

自然環境については、ここだけでなく直江津のほうから見た火力発電所の景色、或
いは、大潟区のほうから見た火力発電所の景色は写真になるようなよい景色ではないか
と思う。渡邊修一委員と同じだが工場夜景としてよいと思う。それと、直江津や夷浜の
ように堤防のあるところに魚釣りに来る人がいる。県外ナンバーの人が非常に多いので、
その人たちに何かお金を落としてもらえるような、資源として活用できるような方法が
あればと思う。

【柳澤委員】

八千浦区の特長、個性として、一村一校の優位性を活かして、学校と地域でいろいろ

なことができるのではないかと考えている。また、八千浦区には、まだまだ防風林や砂丘が残っているので、その辺を活用できたらよいなと考えている。

【羽深委員】

八千浦区は、地理的にはそんなに広い地域ではないのに、これだけ長い海岸線を持っているというのは非常に魅力的だと思う。先ほどもお話があったが、長野県や群馬県といった県外ナンバーが多い。海のない県からすると、海はものすごく憧れの場所でもあるし、あれだけの人数の人が来て、ただ置いていくのがごみだけなので、せっかく八千浦地区に足を運んでくれている皆さんに何か魅力あるものを備えておけば、こちらに定住してもよいかという人もいるのではないかと考える。最大の魅力としては海だと考えている。

【大島副会長】

皆さんと一緒に、海岸線に沿った土地柄を有効活用していきたい。あと柳澤委員がおっしゃったように、保育園、小学校、中学校と学校時代ずっと同じ仲間と学んで遊ぶというのは、他にはなかなかないことなのでこれも活かしたいと思う。

【仲田会長】

八千浦区の特性、個性で、柳澤委員が言ったように一村一校であることのメリットと、浜の気質がある。「浜のしょ」と言われて、横の繋がりが部分的に非常に強いところがあるので、「浜のしょ」の横の繋がりをどのように地域を活性化していくかを考えていきたいと思っている。特に八千浦区の魅力ということで、長い海岸線、海、まだ残っている防風林、砂丘といった八千浦区にしかない自然について、大きく皆さんから発言があった。地域の特性ということで発言があったので、委員同士で少し意見交換をしていただきたいと思う。これからは自由に発言をいただいて、この3つの項目は、それぞれ関連もある。例えば、自然から伝統行事の連携も考えられる。

【笠原武委員】

海岸線、海の関係と関わってくるが、今後非常に大きな問題として、放水路が海岸線の形成にどういう形でなされてくるのか。その辺のまちづくりの関係をもっと具体的な面が早めに出れば海岸線の検討もスムーズに行くのではないかと考えている。

【仲田会長】

先ほど火力発電所の話が出たが、火力発電所がここで建設することが決まって、平成7、8年頃だと思うが、八千浦区のまちづくりということで冊子ができている。将来こ

ういうまちにしたいという内容の冊子だが、非常によくできている。それを読んだ人もいると思うが、その冊子と出来上がってからの夜景、或いは、自然との調和だとか、そういうこともあると思うので、その辺も含めて何かご意見を出していただければと思う。

【笠原幸博委員】

前に西ヶ窪海岸でごみ問題の研修をしてから、荒浜の海のパトロールに毎日行っている。確かに県外の人 coming がいるが、地元の間人はあまりいない。地元の間で海を愛し見に来る人がいない。ここ3、4年ずっと毎日同じような時間帯に行っているが、地元の人にもっと海に出てほしいと思う。やはり、海を愛する人がいないというのは残念である。夢みたいな話だが、キャンプ場みたいなものをして、県外からの人たちのおもてなしをするのもよいのではないか。

海水化工の跡地だが、あれも八千浦の宝物ではないかと思う。ああいうところの利用も、地域協議会で考えられるかと思ったりする。何か残してもらえればと考える。

【仲田会長】

非常に建設的な意見が出た。夜景をPRして、八千浦の魅力としてもよいのではないかという声も出ている。その辺も含めて何か出していただければと思う。

【笠原武委員】

八千浦区から見た海岸線よりも、港の方から見た夜景が非常によいと感じている。それと、仕事で県外から戻ってくると、あの煙突が一つの目安になって、帰ってきたのだなと思うことが結構あった。この辺の自然の景色をもっと魅力アップしていけばよいのではないか。

【渡邊修一委員】

夷浜の黒井突堤が今3本出ている。とても魚が釣れるらしく、SNS等で発信されて、それを見て県外から大勢の人が来ているらしい。釣り人にとっては有名な場所なのはよいが、ごみだけ置いていかれるのももう少し皆さんから意見を出してもらいながら、うまく釣り場として活用できるようになれば、八千浦区だけではなく、上越市にとってもよいのではないか。なかなか難しい計画かと思うが、思案のするところではないか。

【仲田会長】

先ほど笠原幸博委員から出されたように海岸線をパトロールしていて、地元の姿が見えないという。活性化に向けて、どうしたら地元の人が海と親しめるか。昔は漁業を含めて、海を生業としていた人達も多かったが、それがなくなってしまった。漁業のよう

に海に関係した仕事をし、生計を維持するのは大変だが、その辺はどうか。自然環境と地元の人たちが海に興味を持つという、そんな観点で何かご意見があれば出していただきたい。火力発電所の夜景ツアーなども最近流行っている。その辺のアピールを地元で考えるのも一つの手だと思うが、意見があれば出していただきたい。

今、話がだんだん広がっているが、沖から、火力発電所を見るとまた全く違う景色である。だから遊覧船を出して、火力発電所を海の上から眺めれば、全くイメージが違う夜景を楽しめるのではないか。せっかく誘致をしてできた発電所を有効に使うことはありだと思う。今、話題に出た海水化工の跡地について簡易型の産廃処理場なので、利用しようと思えばできる。その方法としていろいろ考えて何かよい案があれば、八千浦区としての特性となると、どうしても海、海岸ということになるが、ここに新たに発電所が加わり、海水化工の跡地も加わることになる。さらに港まで広げていくと、それなりに活性化に向けた取組もあるかと思う。

【大島副会長】

特色があるが、今考えてみればイベントが少ないと思う。釣りという声が出たが、釣り大会や、一年中でなくても小さなイベントを単発でもよいから実施していけばよいのではないか。先日、西ヶ窪浜と夷浜で海岸清掃をやったが、釣り客の車がいっぱい停まっていた、どうみても観光客ではないナンバーの車が、おそらく火力発電所の仕事で来ている人たちが釣りに来ている。松本や長野ナンバーは実際に釣りに来ているのだが、北海道、九州、京都などの車もある。だから、八千浦の中でビジネスはあまりないが、火力発電所の関係で全国から人が集まって来ている。その人たちが情報発信のよいネタになると思う。そういう人たちが喜ぶことをもっと考えていけばよいのではないか。

【柳澤委員】

今、ボートを後ろに引っ張ってきて、そのままずっと海までは入れるのは、新潟県内でも黒井海岸だけのようだ。海にいた時にボートを引っ張ってきた人がいたので、どこから来たか尋ねると、三条市からだった。その時の若者の話だと新潟市に行ってもそういう場所はないし、ここしかない。郷津まで行くと、ずっと車で入っていかなくてはならなくて段差もあるし、黒井が1番よいと言う。それをもっと使う方法がないかとの時思ったが、皆さんの話を聞いていて何とかならないかと思った。

【仲田会長】

地域活性化の方向性という、どうしても自分たちが生まれ育った環境、その特性と

なると海ということになるから、その辺をもう少し掘り下げて何か意見あったら出していただければと思う。

それに関連して、海に関連した伝統行事が、どこかの町内会ではあるのかもしれない。夷浜の米大舟も伝統行事だが、出発点は北前船から来ているということもあるから、その辺も全部海に関連しているということになる。その辺で何かご意見があれば出していただければと思う。

笠原幸博委員が、海に地元の人々の姿が見えないと言われた。これは、地域協議会として「なぜだろう」と考えていったら、意見交換の材料として大変よい材料ではないか。なぜ、浜辺に行かないのか。夕日を見るだけ、朝日を見るだけでも違う。特に夏は、米山の頂上から朝日が出て、日本海の端に海が沈む。その辺はどうか。

【柳澤委員】

先ほど、副会長が言われたように小さなイベント、例えば、夕日コンサートなどを行えば、地域の人々も出て来るのではないかと。

【大島副会長】

私も小さい頃から、歩いて海に行くのが夏の子どもの時の過ごし方だった。その時は、地元の人としか会わず、高校でも大湊区の友達と泳いだり貝を獲ったりしていた。最近では、子どもが小さい頃は数回行ったが、その後は、やはり火力発電所の関係もあってか、県外ナンバーの人が急に増えて静かな海がにぎやかになった。環境が変わって行きづらくなったというのが私の本音である。

【羽深委員】

先ほど副会長から話があったが、何かイベントを開催すれば人が来るのではないかとということだが、釣り人だけであれだけ人が来るので、イベントをやることによって、釣りに全く興味のない人でも集まってくるのではないかと。私はマラソンをやっているが、5月に柏崎の海岸で潮風マラソンがあるが、その日に合わせてイベントを実施している。ステージやフリーマーケット、それ以外に屋台もたくさん出るので、マラソンする人が、全国から来るが来たときに柏崎は、こんなよいところではないかと思う。だから、走るだけでなく、そういったイベントも楽しめるようにすると、子どもからお年寄りまで集まってくるのではないかと。そういうところで引き寄せておいて、地元の子育て世代の人々もふらっと来て、半日ぐらい過ごせるような形になれば、地域外の人々も地域の人も気軽に楽しめて、また、集まったところでいろいろな意見交換をして、八千浦区

の宣伝もできるのではないかと思います。そのためには、もう少しこの海岸線を生かして、整備をしていく必要がある。ただ海があって砂浜があるだけでは小さい子どもを連れてきても、30分ぐらいで帰ってしまうような気もするので、私が行っている柏崎の海岸は、周りも非常に整理されていて子どもを連れてきても、半日ぐらいゆっくりしていただけるような整備がされている。あのぐらい整備されれば、相当の人がいろんなところから集まって来てくれるのではないかと考えている。

【仲田会長】

沖堤防の関係で西ヶ窪の地先までは波立が少ない。特に北東の風が吹くとこの辺はどこでも駄目なのだが、割と穏やかな海だから、例えば、水上バイクの基地を作ってはどうか。マナーも含めて運営をどうするかだが、先ほど柳澤委員が言われたように、要するに、海岸から海に降りる際に障害物がない場所はここしかない。直江津、郷津、名立に行っても無理である。犀潟から向こうは、海岸に決壊があって無理である。本当に砂浜から海に降りられるのは、この八千浦しかない。郷津の海水浴場に行けば別である。だから、その辺が地域の特性としてある。「海に行ったことがないからわからない」と言ったらそれまでだが、やはり、海岸線に住民を引っ張り出す工夫として、小さなイベントを積み重ねたり、例えば、夜景でも春夏秋冬があるから、四季ごとにポイントを探してアピールするなど工夫ができると思う。ここ3年間、海まつりが中止になっている。イメージとしては、海まつりが別の方向で展開できるところまで来た状況で、コロナ禍で中止が続いている。今まで大人が運営していたのが、中学生を主体として運営から進行まで中学生が行うところまで2回実施している。その辺が少しずつ変わってきている。見直しやヒントみたいなものがあれば、意見を出していただきたい。

【柳澤委員】

今、海まつりの話も出たが、3年ぶりで、今年は変則的にはまぐみ市、文化展と一緒に開催するが、やはり少しずつ変わっていくと思う。先ほど話した一村一校という優位性を考えたら、学校と地域がこれでいきましょうと言ったら、意外と早く決まるので、そんなことも考えながら進めていけば、また面白い意見が出てくると思う。

【仲田会長】

今日お集まりの皆さんから、話を聞いていると海、海岸線。これが当地区の言ってみれば、活性化の生命線だという意見が多数出ている。港も変わってきているし、海岸も変わってきているので、その辺は、今出された意見を少し取りまとめながら、次回以降

また協議を進めたい。たくさん課題を出されるとあっちに行ったり、こっちに行ったりということになるが、大体よいところの意見が聞けたような気がする。

【笠原武委員】

先日、八千浦小学校3年生から申し出があって、「下荒浜の神社はどういう神社か」ということで見学し、子どもから質問を受け、一応、私が経験した中で答えた。

八千浦地区は各町内にすべて神社がある。諏訪神社が何か所かある。夷浜が違うが、ほぼ他の神社はすべて諏訪神社系である。「何故、ここに諏訪神社が多いのか」という質問が一番多かった。その辺も含め、八千浦地区の成り立ちなどについても意見交換してもよいのではないかと思う。

【仲田会長】

八千浦区は、黒井から西ヶ窪浜まで行くと、国土地理院の基準点がある。それから、天皇陛下が巡行した石碑が3つぐらいあり、道祖神が道路にある。特に黒井は、昔、宿場町だったので、その名残があり、そんなものを掘り下げていくと、地域の成り立ちもわかるかと思う。いろいろなことが眠っているのかなと思う。非常に有意義な話もたくさん出ているし、具体的なヒントもいくつかあったかと思う。

それでは、今回これ出された意見については、事務局で取りまとめをいただいて、次回以降、方向性として協議をしていくということによいか。先ほどのスケジュールに基づいて、少しずつ地域活性化の方向性を絞り込んでいくという作業を続けていきたいと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

次回の協議会は、11月下旬頃に開催したいと考えている。日程については、会長と相談の上決定させていただき、日程が決まり次第、開催案内をお送りさせていただきたい。

【仲田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。